

令和6年度ひろしま環境ビジネス推進協議会新規事業創出支援業務 審査評価基準

評価項目	提案書該当箇所	評価の視点	配点	評価点				
				A	B	C	D	E
新規事業創出プログラム			64					
目標設定・支援企業の募集と選定	1-1、 1-2(1)	・幅広い産業分野から企業を募集し、新規事業創出を目指す5社以上の確保が期待できる提案か。また、不測の事態（支援対象企業の途中辞退等）に対処できるよう、対策案を準備しているか。 ・支援対象企業の経営層が事業への参加にコミットする仕掛けが施されているか。	32	32	24	16	8	0
プログラム内容（目指す姿の明確化）	1-2(2)①	・「支援対象企業の成し遂げたいビジョン」や「支援対象企業だからこそ創出可能な価値」の明確化が期待できるか。	8	8	6	4	2	0
プログラム内容（不足リソースへの対応）	1-2(2)②	・新規事業案を作る中で顕在化した課題や不足リソースに対し、適切な補完方法の提示が期待できるか。 ・他企業との連携によりビジネス展開の可能性が高まる場合には、連携先の紹介・マッチングを行う等、外部のリソースを活用することが期待できるか。	8	8	6	4	2	0
プログラム内容（経営層へのコミット）	1-2(2)③	・支援対象企業の経営者に対して進捗状況を適宜報告する機会を設ける等、プログラムで創出する新規事業案が支援対象企業の経営方針と乖離しないような工程が組み込まれているか。	8	8	6	4	2	0
プログラム内容（企業内での再現性）	1-2(2)④	・提案の内容は、業務終了後にも支援対象企業が自ら継続的に新規事業開発を進めていくことが期待できる内容か。また、その提案の内容の実現可能性は十分か。	8	8	6	4	2	0
SCRUM HIROSHIMA（協議会の活性化）			56					
参加企業の募集	2-1	・幅広い産業分野及び地域から、各イベントの趣旨に合わせて企業に周知を行い、各目標数の参加につなげることができるような提案となっているか。	12	12	9	6	3	0
オープンイベント	2-2(1)	・協議会会員外の者とも交流できる環境が用意され、参加者同士が主体的に活動して協力する輪が生まれる内容であり、新ビジネス創出の挑戦意欲が高まることが期待できるか。	8	8	6	4	2	0
経営層向けイベント	2-2(2)	・対象とする経営層にとって有益な内容であり、新事業創出の意識情勢が図れる内容であり、当該イベントへの参加意欲が高まるような工夫があるか。	12	12	9	6	3	0
協議会事業参加経験企業向け交流会	2-2(3)	・参加企業の新規事業着手状況の共有だけでなく、経営層と担当者のそれぞれに新たな気付きや知識がもたらし、新規事業創出の意欲醸成が図れる工夫があるか。	4	4	3	2	1	0
コミュニティの活性化・企業間連携の促進	2-2(4)	・イベント終了後もイベント参加者が交流を継続できる仕組みがあるか。 ・企業ニーズの把握や協議会会員等の相談や要望に常時対応できる等、企業間連携の可能性を高められる体制となっているか。 ・効果的なアンケート・ヒアリング調査の実施及び協議会事業への提案が期待できるか。	20	20	15	10	5	0
広報			12					
情報発信	3	・本業務の活動内容を効果的に情報発信するものとなっているか。 ・県内企業の新規事業開発に対するマインドの醸成につながることを期待できるか。	12	12	9	6	3	0
全体			24					
実行体制・スケジュール	4	・各業務の担当者名・役割が明確に示され、業務への適正が確認できるか。 ・本業務の目標達成に向け、最も効果的なスケジュール設定となっているか。	16	16	12	8	4	0
提案者の実績	5	・提案者がこれまで手掛けた類似の業務について、十分な実績があるか。	4	4	3	2	1	0
業務の連動性と将来性	6	・新規事業創出プログラム及びSCRUM HIROSHIMAに連動性がみられ、将来的に、企業が新規事業創出に積極的に取り組む文化・土壌が醸成されることが期待できるか。	4	4	3	2	1	0
その他			4					
予算経費及び内訳	様式③	・予算額及び経費の内訳に妥当性があるか。	4	4	3	2	1	0
合計			160					

評価A:特に優れている 評価B:やや優れている 評価C:普通 評価D:劣っている 評価E:特に劣っている

総合点:

※本評価基準における最低基準点は、96点（評価値の100分の60）とする。